
2022(令和4)年度 事業報告書



2022年(令和4年)4月1日より2023(令和5年)年3月31日まで

公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

2022 年度を振り返って

2022 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、感染症対策を徹底した事業活動となりました。

活動の中心となる「ふれあいのスポーツ広場」は、自動車総連のご支援をいただき、全国 47 会場で開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により 14 会場で変更・中止があり、全国 33 会場での実施となりました。参加者数の制限や着席スタイルによる間隔の維持、会場の換気等、感染対策を徹底した運営に努めた結果、新型コロナウイルスの感染者の報告はありませんでした。コロナ禍に対応した競技は、参加者数や会場の広さに応じて柔軟に対応しながら、創意工夫を重ねて取り組んでまいりました。

「ノンバーバルコミュニケーションワークショップ」は、3 年ぶりに開催することができ、2019 年台風 15 号等の豪雨災害の被災地である千葉県内の施設と、過去の被災地で開催実績のある札幌市内で実施致しました。このワークショップは、言葉を発せず、ノンバーバル（非言語）で進行していくことが特徴であり、法人ごと実施したため、感染対策も万全に取り組むことが出来ました。

ニュースレターについては、3 カ月ごとに当基金の活動内容を周知するために発行しておりますが、ページ数を縮小しつつ活動状況の報告や参加者の声を中心に掲載してまいりました。

ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究は、昨年度、コロナ禍でも取り組めるオンライン形式でのニュープログラムや全国各地の取り組みについて学んでまいりましたが、今年度は研究員の方々が全国各地で取り組まれている内容をさらに深掘りし、工夫をこらしながらコロナ禍で取り組まれた活動を報告書としてまとめました。

財政面で、徹底した経費削減に努力しながら、賛助会員の拡大に努め、引き続き当基金設立の趣旨を踏まえ、事業の推進に努めてまいります。みなさまのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

2023年3月

公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

1. ふれあいの広場事業

1.1 ふれあいのスポーツ広場の実施

開催数：
 全国33会場
 共催：
 自動車総連
 後援：
 内閣府、スポーツ庁、開催県市等
 協力：
 日本福祉大学
 (公社)日本エアロビック連盟
 仙台ユニバーサルスポーツ研究会



当基金の設立以来開催を続けているこの事業は、全国33会場での実施となりました。新型コロナウイルスの基本的な感染対策の徹底のため、①参加者数の制限、②参加者全員を着席とし、間隔の維持に務める、③出入口の分散や時間差での入退場、④午前中のみ開催とし昼食を提供しない、⑤着席で行える競技開発等、感染対策に沿った運営方法を理解していただくことに努めました。

ここで得られた知見を踏まえて、監修をいただいている日本福祉大学スポーツ科学部学部長の藤田紀昭先生を中心に、この事業や当基金にご協力をいただいている有識者のご意見をいただきながら、安心安全でより楽しめる大会とするべく活動を進めて参ります。

参加施設・団体	73 団体	1,548 名
実行委員等		1,801 名
参加者合計		3,349 名

時間	プログラム	備考
9時50分～	参加施設 到着 施設ごとに時間差で入場	参加者全員の検温実施
着席後	対面挨拶	下半期より実施
10時30分	開会式	主催者・来賓ご挨拶 注意事項説明 (手指消毒液の使い方他)
10時35分	準備体操 (ストレッチ又はラジオ体操)	又はスローエアロビック
	第1競技 じゃんけんダンス	
	アルコール消毒タイム	
11時00分	第2競技 風船シュート	
	アルコール消毒タイム	
11時15分	第3競技 風船パス	
11時30分	閉会／解散	

2022年度ふれあいのスポーツ広場 開催集計表

開催地	日程	会 場	参加者数
鹿児島（鹿児島）	4月4日（月）	鹿児島市民体育館	170
富山（富山）	5月14日（土）	富山市南総合公園体育文化センター	119
福島（須賀川）	5月21日（土）	須賀川アリーナ	98
徳島（松茂）	5月24日（火）	松茂町総合体育館	106
岡山（倉敷）	5月28日（土）	水島緑地福田公園体育館	89
奈良（橿原）	5月30日（月）	ジェイテクトアリーナ奈良	116
栃木（宇都宮）	6月4日（土）	わかくさアリーナ	59
京都（京都）	6月5日（日）	京都市障害者スポーツセンター	73
岐阜（関）	6月7日（火）	アテナ工業アリーナ	110
福岡（福岡）	6月13日（月）	福岡市総合体育館	83
兵庫（西宮）	6月15日（水）	兵庫県立総合体育館	92
山口（防府）	6月19日（日）	ソルトアリーナ防府	122
石川（金沢）	6月20日（月）	いしかわ総合スポーツセンター	222
北海道（池田）	9月2日（金）	池田町総合体育館	51
滋賀（竜王）	9月25日（日）	竜王町ドラゴンスポーツセンター	53
青森（青森）	10月3日（月）	マエダアリーナメインアリーナ	98
山梨（甲府）	10月5日（水）	山梨県緑が丘スポーツ公園体育館	118
和歌山（和歌山）	10月12日（水）	和歌山ビッグウエーブ	193
新潟（新潟）	10月12日（水）	鳥屋野総合体育館	71
熊本（大津）	10月15日（土）	大津町総合体育館	103
佐賀（佐賀）	10月18日（火）	佐賀市立諸富文化体育館	98
埼玉（狭山）	10月29日（土）	本田技研埼玉製作所体育館	115
高知（南国）	11月1日（火）	南国市立スポーツセンター	70
静岡（浜松）	11月5日（土）	可美公園体育館	88
島根（松江）	11月7日（月）	松江市総合体育館	105
千葉（千葉）	11月7日（月）	千葉公園スポーツ施設体育館	91
愛知（豊田）	11月12日（土）	つどいの丘アリーナ	76
大分（別府）	11月15日（火）	べっぴアリーナ	75
大阪（大阪）	11月16日（水）	大阪府立体育会館	118
神奈川（寒川）	11月21日（月）	シンコースポーツ寒川アリーナ	90
宮城（大河原）	11月26日（土）	大河原町総合体育館	55
茨城（牛久）	11月26日（土）	牛久運動公園体育館	94
三重（亀山）	12月17日（土）	亀山市西野公園体育館	127
参加者合計			3,349



1.2 ノンバーバル・コミュニケーション・ワークショップの実施

(ワークショップ in ちば)
後援
千葉市、(福)千葉市社会福祉協議会

(ワークショップ in さっぽろ)
共催
(特非) 自立支援センター歩歩路
助成
(福) 黎明会福祉開発振興援助事業



ノンバーバル・コミュニケーションワークショップは、言葉を使わずになかなか伝わらないもどかしさを感じながら、じっくりと相手と向き合うための空間です。そこから、自分らしい伝え方、伝えられ方を学び合う場として、2011年度より東日本大震災等の被災地を対象として活動をしてきました。

今年度はコロナ禍で中止となっていた2019年10月の台風15号等の豪雨災害により被害にあわれた千葉県内の施設と、過去の被災地で開催実績のある札幌市内での施設で、3年ぶりに開催することができました。

ファシリテーター

庄崎隆志さん office 風の器主宰・俳優・演出家

メイミさん 漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長

「ノンバーバルコミュニケーションワークショップ in ちば」

1. 日程：2022年12月12日(月)
2. 参加者・参加人数
畑町ガーデン 午前の部 25名
畑町ガーデン 午後の部 25名

「ノンバーバルコミュニケーションワークショップ in さっぽろ」

1. 日程：2023年3月30日(木)
2. 参加者・参加人数
生活介護事業所愛歩路 24名
児童3(Coco～(ここから)/li～(いいから)/まるちゃん)事業所 35名



2. 開発、普及および育成事業

2.1 ニュースレターの発行

3カ月に1度、賛助会員のみなさまや、事業の参加者などに当基金の活動を紹介するため、ニュースレターを発行しています。印刷物の他、ホームページ上で公開しています。

第116号－2022年6月号

報告／2022年度ふれあいのスポーツ広場上半期開催報告

第117号－2022年9月号

2022年度ふれあいのスポーツ広場下半期の開催日程

第118号－2022年12月号

報告／ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in ちば

第119号－2023年3月号

報告／2022年度ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究
2023年度事業計画



2.2 ホームページの開設

当基金の活動予定や報告について随時更新しております。
2020年4月よりデザインを一新後、ウェブアクセシビリティにも配慮した内容となっています。

ホームページの URL は、<https://www.niceheart.or.jp>



2.3 各事業報告書の発行

各種事業についての報告書を発行いたしました。当基金ホームページにおいて、掲示し無料配布しております。



(1) 2022年度ふれあいのスポーツ広場実施報告書

発行：2023年1月

頁数：90ページ

(2) 2022年度ナンバーバル・コミュニケーションワークショップ in ちば実施報告書

発行：2023年1月

頁数：17ページ

(3) 2022年度ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究実施報告書

発行：2023年3月

頁数：26ページ

3. 調査研究事業

3.1 ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究の実施

当基金は設立以来、障害の有無に関わらず、楽しみながら行うことのできる競技を開発しながら、障害のある方について学べる場を提供してきました。昨年度は、オンライン形式のユニバーサルスポーツ競技の開発を試みました。

今年度は、有識者の方々がコロナ禍において全国各地で取り組まれている内容をさらに深掘りし、各委員にレポートにまとめて頂きました。

1. 研究会委員

藤田 紀昭さん 日本福祉大学スポーツ科学部長・教授
金山 千広さん 立命館大学産業社会学部教授
林田 はるみさん 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部教授
佐藤 一樹さん 仙台ユニバーサルスポーツ研究会 代表

2. 報告書 当基金ホームページにて公開

当基金が後援した事業

・「第47回わたぼうし音楽祭」

主催：奈良たんぽぽの会

日時：12月11日

・「第23回東京都障害者スポーツ大会」

主催：東京都、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

日時：5月8日